



江別市議会議長 宮本 忠明

Miyamoto
Tadaaki



江別市長 三好 昇

Miyoshi
Noboru

新年のごあいさつ

謹賀新年

新年あけましておめでとうございませう。

市民の皆さまには、ご家族とともに健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。

振り返りますと、昨年は、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発令されるなど、市民生活や市内経済への影響が続いた一年となりました。

こうした中、感染の重症化を抑えるため、昨年3月に医療従事者からワクチン接種を始め

ましたが、4月の予約の際には混乱を招き、市民の皆さまにご迷惑をおかけしました。その後は、医療関係者・団体の皆さまのご理解とご協力により、11月末までに接種を行うことができました。12月からは感染予防等のため、医療従事者から3回目の接種を開始しましたので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

9月には、江別版生涯活躍のまち構想により、大麻地区に「コルクくえべつ」が全面オープンし、高齢者・障がい者・若者が集う地域交流の場が設けられ、共生のまちの実現に向けた

すの補正予算について、一刻も早く市民の皆さまへ支援が届くよう、効率的な審議を行ってきております。

現在は、ワクチン接種が進み、感染者数は減少傾向にあります。また、昨年末には、南アフリカで新たな変異株が確認され、今なお、新型コロナウイルス感染症の終息を見通すことができず、不安な毎日を通り過ぎるを得ない状況であります。

市議会としても、各団体や企業、そして市民の皆さまとの意見交換の場が限られるなど、行動の自粛を余儀なくされま

した。第一歩を踏み出すことができました。

さて、今年はコロナ禍により冷え込んだ市内経済を回復するため、市内経済団体の皆さまとの連携のもと、国の経済対策、えべつプレミアム商品券などの地域活性化対策を、ウイズコロナ・アフターコロナを意識し進めてまいります。

また、昨年10月に発足した一般社団法人えべつ観光協会により、江別の宝「食・農・大学」を活かしたNEW観光の取り組みが期待され、春には、林木育種場に本社移転するサツポ口珈琲館の直営カフェが、新たなス

ポットとしてオープンします。懸案の市立病院の経営につきましては、経営評価委員会からの提言を踏まえ、再建に向けたロードマップに基づき、着実に経営改善を進めてまいります。

これからも、北海道スタイルに基づき、コロナ対応を最優先としながら、市の持つ優位性を活かした「協働のまちづくり」を進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな年が市民の皆さまにとって輝かしい一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

今年4月には、私も議員は、任期の最終年度を迎えます。議員として、より一層資質の向上に努め、議会改革や活性化など、市民の皆さまの負託やご期待にこたえるため、誠心誠意尽くしてまいります。本年も市議会に對しまして、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長く厳しい月日が続いておりますが、新しい年が穏やかで、市民の皆さまにとりまして、ご健勝で幸多き年となりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆さまには、日頃より市議会の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、一昨年から続く、新型コロナウイルス感染症との闘いの年となりました。2度にわたる緊急事態宣言などにより、市民の皆さまは、生活面において、多大な影響を受けられたことと思ひます。

この間、市議会では、市民や事業者に対するさまざまな新型コロナウイルス感染症対策に関

た。今後におきましても、市民の皆さまが平穏な生活を送れますよう、情報公開や説明責任など、市と緊密に連携し、議決機関としての役割を果たしてまいります。

昨年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、コロナ禍においても真摯にスポーツと向き合う選手の姿が印象的な年となるなど、明るい話題もありました。本年は、北京冬季オリンピック・パラリンピックが引き続き厳しい状況下での開催となりますが、安心安全の中での選手活躍を期待いたします。

長く厳しい月日が続いておりますが、新しい年が穏やかで、市民の皆さまにとりまして、ご健勝で幸多き年となりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

令和3年度市政功労者・功績者、貢献賞、特別褒賞の受賞者および受賞団体

市への功績をたたえて

市では、永年にわたって江別市の振興と発展に尽力された方や、経済、社会、文化などの興隆に寄与された方の努力と功績をたたえ、表彰を行っています。今年、市政功労者3名のほか、市政功績者2名、貢献賞受賞者4名、特別褒賞受賞1団体を表彰しました。 ※年齢は表彰式時点

【詳細】 総務部総務課 ☎381-1005

市政功労者

平成19年7月から令和3年6月までの14年にわたり副市長として市長を補佐し、市政の安定運営、地方自治の振興及び江別市発展に大きく貢献されました。また、その間、江別市防災会議委員、江別市国民保護協議会委員などを歴任され、市勢の進展に尽力されました。



佐々木 雄二さん (74歳)

平成7年5月、江別市議会議員に初当選以来、3期12年にわたりその任にあたられ、その間、江別市議会副議長、環境経済常任委員会委員長、予算特別委員会委員長などの要職を歴任されたほか、江別市青少年問題協議会委員を務められるなど、市勢の進展に尽力されました。



小玉 豊治さん (71歳)

平成3年5月、江別市議会議員に初当選以来、4期16年にわたりその任にあたられ、その間、江別市議会副議長、厚生常任委員会委員長や予算特別委員会委員長などの要職を歴任されたほか、監査委員を務められるなど、市勢の進展に尽力されました。



川村 恒宏さん (70歳)

市政功績者

平成7年4月から令和元年10月まで、江別商工会議所役員を務められ、その間、議員、副会長、会頭の要職を歴任され、市内商工業の発展に尽力されました。



安孫子 建雄さん (78歳)

平成6年から現在まで27年の永きにわたり一般社団法人江別医師会役員を勤められ、その間、副会長、会長、顧問（現在）の要職を歴任され、保健衛生の向上に尽力されています。



野呂 英行さん (72歳)

令和3年度 表彰式



市政功労者と市政功績者は11月24日に、貢献賞と特別褒賞は11月22日にそれぞれ表彰式を行いました。

江別市貢献賞

平成11年から令和3年までの永きにわたり江別市生涯学習推進協議会副会長、会長を務められ、その識見と豊富な経験をもって、市の教育分野に大きく貢献されました。



谷川 幸雄さん (84歳)

平成13年から令和3年まで民生委員・児童委員を務められ、社会奉仕の精神をもって市民の立場に立った助言、支援を行うなど、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。



荻野 富雄さん (77歳)

平成20年から令和2年まで農業委員会委員、会長を務められ、その豊富な識見をもって農業行政の円滑な推進に寄与されるなど、市の農業振興に大きく貢献されました。



萩原 俊裕さん (70歳)

平成10年から令和元年まで民生委員・児童委員を務められ、社会奉仕の精神をもって市民の立場に立った助言、支援を行うなど、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。



小岩 裕子さん (70歳)

特別褒賞

江別市男女共同参画推進連絡協議会



男女共同参画の実現と普及を目指し、平成13年5月16日に設立されました。以来20年にわたり、男女が性別にとらわれることなく一人の人間としてその人権が尊重され、かつ、心豊かな活力ある社会を実現することを目的に活動を進め、研修会や講演会のほか、男女共同参画に関する市の計画や取組について会報やリーフレットにより周知・啓発するなど、地域社会の発展に大きく貢献されています。